阿見町(あみまち)



<行政組織>

300-0392 〈住所〉稲敷郡阿見町中央1-1-1

〈FAX〉 029-887-9560 〈TEL 〉 029-888-1111

〈 H P 〉 http://www.town.ami.ibaraki.jp/

⟨e-mail⟩ ami@town.ami.lg.jp

地方公共 類型 Ⅵ-2 084433 面積 団体コード

64.97 km

く概要>

①長等(H20. 5. 1現在)

かわた こうじ H18.3.20~ 任 期 長 川田 弘二 H22.3.19 (72_歳) 副町長 大﨑 誠 収入役

②議会(H20. 5. 1現在)

議		長		諏訪原	実	2	Ē	副議長	Ę	千葉	繁	
任		期	H2	4.3.31		条例定	2数	18	名	現議員数	18	名
党	派	別	公明3	共産1	無	14						

③職員数(H19. 4. 1現在)

(人)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係		公営事業 会計関係	
364	327	215		37	
一般行政職の 平均給料月額	3,366 百円	ラスパイ レス指数	99.1	地域手当 補正後 ラス指数	99.1
全職員数	H16. 4. 1	H17. 4. 1		H18. 4. 1	
の推移	384	3	376	370	

4機構図(H20.4.1現在)

<町長>-<副町長>-総 務 部一総務課

企画財政課

秘書課

税務課

収納課

民 生 部一社会福祉課(福祉センターまほろば)

児童福祉課(保育所, 児童館, 地域子育て支援センター)

障害福祉課(総合保健福祉会館内)

国保年金課

健康づくり課(総合保健福祉会館内)

町民課(うずら出張所)

生活産業部一 農業振興課

商工観光課

環境課(霞クリーンセンター、さくらクリーンセンター)

町民活動推進課(町民活動センター)

都市整備部一 都市計画課

区画整理課

建設課

部外一予科練平和記念館整備推進室

<会計管理者>-会計課

<消防長>- 総務課 警防課

消防署

<水道事業管理者>一都市整備部一水道課

<教育長>-教育次長-学校教育課(給食センター)。

指導室(教育相談センター, 町立小学校8校,

町立中学校3校).

生涯学習課(中央公民館, 君原公民館,

かすみ公民館, 本郷ふれあいセンター, 舟島ふれあいセンター, 図書館)

(議会>ー議会事務局(行政委員会>選挙管理委員会事務局(総務課内),監査委員事務局(総務課内), 農業委員会事務局(農業振興課内)

①沿革

地域指定

都市開発

昭和30年4月1日 合併 阿見町 朝日村 君原村 舟島村(大字舟子を除く)

②地勢・風土等

阿見町は茨城県の南部に位置し、日本第2位の面積を誇る

一部事務組合加入事業

し尿 教育センター 火葬場

公営企業

上水道

霞ヶ浦の南岸に面している。 首都東京へは南に50km,県都水戸へは北に50km,成田新東 京国際空港へは南東に30kmの位置にあり、東京、水戸へはJR 常磐線や常磐自動車道を利用して約1時間の距離にある。東 西に11km, 南北に9kmの広がりをもち, 平均海抜は21mとおお むね平坦な地形となっている。

③人口・世帯数

区分			常住人口		
		H7 H12 H17		H17	(H20. 4. 1)
	男	22,846	23,196	23,824	23,690
人口	女	22,806	23,726	24,170	24,067
_	合計	45,652	46,922	47,994	47,757
世帯数		14,835	16,035	17,443	17,727

④有権者数(20.3.2現在) ⑤老齡人口割合 (H20.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	老齢人口割合
有惟日奴	18,967	19,167	38,134	19.2 %

く産業・経済>

①生産・所得(平成17年度)

市町村内総生産	1,905 億円	就業者1人当り	9,308 千円
住民所得	1,630 億円	人口1人当り	3,396 千円

②産業構造

(百万円・人)

区分	総生産額(H17年度)	就業人口(H17国調)
第1次	2,053	1.1 %	1,139	4.7 %
第2次	115,727	60.7 %	6,565	27.2 %
第3次	77,266	40.6 %	16,252	67.4 %
総額・総数	190,499	_	24,119	_

③農業・工業・商業

(人・百万円)

農業	農家数	農業就業人口	農業産出額 (H18.1.1~12.31)
(H17. 2. 1)	1,067	645	2,920
製造業	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H18.1.1~12.31)
(H18. 12. 31)	79	5,479	285,553
卸•小売業	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
(H19. 6. 1)	299	2,352	41,308

4特産物

すいか 蓮根 ヤーコン

①決算収支

UNIT NA			(1
区分	H17決算	H18決算	増減率
歳 入	14,044,889	13,505,018	△ 3.8
歳出	13,317,739	12,677,796	△ 4.8
形式収支	727,150	827,222	-
実質収支	646,204	717,625	-
単年度収支	△ 4,114	71,421	ı
実質単年度収支	△ 67,914	71,521	_

②主な歳入・歳出(平成18年度)

(百万円・%)

(千円・%)

6	上少,	W.ノヽ	- 地名	ドル・ロール	文/	(1	37D.%)
	Σ	₹ :	分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳	7			13,505	_	△ 540	Δ 3.8
	地方税			7,681	56.9	250	3.4
	地方	交付	†税	171	1.3	74	76.2
	国庫	支出	金	898	6.7	△ 70	△ 7.3
	地方	債		920	6.8	Δ 2	Δ 0.3
		うち	臨財債費	459	3.4	_	1
		その	の他	3,835	28.4	_	_
		うち	繰入金	114	0.9	_	_
歳	裁 出			12,678	_	△ 640	△ 4.8
	義務的経費			5,763	45.5	△ 82	△ 1.4
		人件	-費	2,830	22.3	△ 132	△ 4.5
		扶助]費	985	7.8	53	5.7
		公債	費	1,949	15.4	△ 3	△ 0.2
	投資	的紹	圣費	1,643	13.0	_	_
		普通	建設事業費	1,643	13.0	△ 190	△ 10.4
			うち補助	1,204	9.5	10	0.9
			うち単独	408	3.2	△ 199	△ 32.8
	その	他の)経費	5,271	41.6	_	_
		うち	·繰出金	1,880	14.8	_	_

③主要指標(平成18年度)

区 分	指数等	
標準財政規模(H19)	8,658	百万円
財政力指数(H17~H19)	0.992	
経常収支比率	91.9	%
公債費負担比率	17.9	%
実質公債費比率	16.7	%
税の徴収率(過年)	16.1	%
税の徴収率(現年)	97.5	%
税の徴収率(合計)	88.9	%
·	·	

④将来にわたる財政負担(平成18年度) (単位:千円・%)

区 分	金 額	比率
地方債現在高(A)	13,662,786	157.8
債務負担行為支出予定額(B)	1,176,231	_
実質債務残高(C=A+B)	14,839,017	171.4
積立金現在高(D)	4,209,452	48.6
将来にわたる財政負担(E=C-D)	10,629,565	122.8

⑤市町村税の状況(平成18年度)

שילי לי אור וייינוי	(111,707		
区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税	3,940,875	3,650,689	00.0
(構成比)	(45.6)	(47.5)	92.6
固定資産税	3,810,566	3,232,128	84.8
(構成比)	(44.1)	(42.1)	04.0
その他の税	887,785	798,165	89.9
(構成比)	(10.3)	(10.4)	09.9
合 計	8,639,226	7,680,982	88.9

<公共施設整備状況>(平成17年度)

2	か所
48	か所
31.1	%
57.7	%
84.6	%
100	%
78.4	%
85	%
125.0	%
133.0	70
	31.1 57.7 84.6 100 78.4

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

			т, , , , ,
名 称	期間	内 容	概 算事業費
本郷第一土地区 画整理事業	H6∼ H23	土地区画整理事業	8,566
荒川本郷地区都 市計画街路整備 事業	H15~ H20	街路整備事業	2,566
荒川本郷地区雨 水対策事業	H16~ H22	排水管渠及び調整池整備事業	2,420
霞ヶ浦平和記念 公園整備事業	H15~ H21	近隣公園, 平和記念館等の整備	1,981

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- 行財政改革の推進
- ・土地区画整理事業の推進・少子高齢化社会への対応
- ·遊休農地解消対策
- ・阿見東部工業団地への企業誘致

- <特色ある行政> ・健康と福祉のまちづくり
- ・生涯学習の充実したまちづくり
- ・自然環境を生かし、緑を貴重とした美しいまちづくり ・霞ヶ浦湖岸公園の推進 ・町民と行政の協働によるまちづくり

- ・町内の三大学との連携